

NNNews 12月号

鹿行農林事務所 行方地域農業改良普及センター
Tel:0299-72-0256 Fax:0299-72-1690 担当 中尾

農業学園実施状況

令和元年度行方地域農業学園開講式および第1回講座「先進事例研修」

6月4日（火）に令和元年度行方地域農業学園開講式および第1回講座「先進事例研修」を開催し、学園生5名が参加しました。開講式では、普及センター長から「農業学園で学んだことをそれぞれの経営発展に役立て、経営感覚の優れた農業者となってほしい」と挨拶がありました。

続く第1回講座は、会場を移し、日頃より行方地域の担い手育成に取り組んでいる山本経営士の圃場で実施しました。山本経営士からの「消費者を意識した商品づくりに励んでほしい」「自分の作物の良い部分と悪い部分を把握してほしい」等のアドバイスに対して、学園生はうなずきながら熱心に耳を傾けていました。また、講座内では、山本経営士が質問を投げかけたり、学園生からも積極的に質問を返したり、交流する場面が見られ、活発な意見交換ができました。



第2回講座「販売・流通視察研修」

7月30日（火）に第2回講座「販売・流通視察研修」を開催しました。本講座は銚田普及センターと合同で開催し、行方地域の学園生12名、銚田地域の学園生12名の計24名が参加しました。

第2回講座では平成30年10月に取引が開始された「豊洲市場」と茨城県アンテナショップ「IBARAKI sense」の視察を行いました。豊洲市場では、青果物市場担当者から、市場の役割や機能、流通の仕組みに関して説明を受けました。中でも青果物の市場価格の決まり方について学園生の関心が高く、「市場価格が安くなる原因はなにか」「産地によって販売価格はちがうのか」などの質問を積極的に投げかける姿が見受けられました。

IBARAKI senseでは、アンテナショップでの商品の展示方法や他県のアンテナショップとの違いなどを自分たちの目で実際に見て回りました。視察中、学園生とIBARAKI senseの店長が交流する姿が見られ、有意義な研修となりました。



特別講座「行方地域レンコン講座」

10月8日(火)に行方市農業振興センターおよび現地作業場において、特別講座「行方地域レンコン講座」を開催し、学園生12名が参加しました。

行方地域では、近年、レンコンでの就農者が多いことから、「レンコン」に品目を絞った本講座を特別講座として初めて開催しました。本講座では、先輩農家との意見交換を目的に、高橋経営士を講師に、ご自身の経営概要や行方市れんこん研究会での取り組み、レンコン栽培のポイントについてご講話いただきました。

更に場所を移し、作業場の様子を見学しました。高橋経営士からは、「今日見た事を全て真似るのではなく、参考になった部分を取り入れつつ、自分のやり方を築いてほしい」という激励の言葉をいただきました。学園生からも、レンコンの品種や出荷形態、機械などについて様々な質問応答があり有意義な講座となりました。また、講座終了後にも学園生同士で意見交換が行われ、レンコン生産者同士の「仲間づくり」の場にもなりました。



今後の農業学園開催スケジュール

回	時期	形式	講座名 (開催場所)	内容
特別講座	12月	講義 実習	農業簿記講座 (普及センター)	・農業簿記について
第3回	1月	講義	行方地域農業後継者クラブ プロジェクト発表会 (普及センター)	・地域農業やクラブ員の経営発展を目指して行われている活動を学ぶ ・クラブ員との交流・情報交換
第4回	2月	講義 実習	土づくり講座 (普及センター)	・土づくりとは、適正施肥 ・土壌診断の活用法
未定	未定	講義 実習	農業機械研修講座 (未定)	・農業機械の基礎知識や安全使用 ・農業機械のセルフメンテナンス

農業学園生募集中！

- ・新しく農業を始めた方
- ・少し前に就農したが、聞いてみたい話がある方
- ・普及センターってどんなところ？とお思いの方

ぜひ農業学園に来てみませんか？
興味のある講座だけでも構いません。
お気軽にご参加ください！

